

“富士市のごみを考える会” をご存知ですか？



NPO法人富士市のごみを考える会

富士市のごみを考える会って、何をしているの？

設立時期：2003年12月26日

理事長：小川浩教授

設立の背景

富士市におけるごみの排出量が全国平均より多いことに気がつき、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進めごみを削減し、資源循環型社会を目指すことで、持続可能な社会作りに貢献する環境先進都市富士市を作ろうと、この会を設立。

会員数：18人(2021.3.31現在)



- ごみを減らすことで地球の資源を守ります。
- ごみを燃やさないことで地球温暖化を防止します。
- 「もったいない」の心を大切にします。

色々なところに行って勉強をしています。

平成26年度 京都市京エコロジーセンター視察



平成27年度 豊田市とよたエコット視察



ごみの排出抑制・適正処理に関する 普及啓発活動

〈生ごみ資源化講座〉 : (EMぼかし)

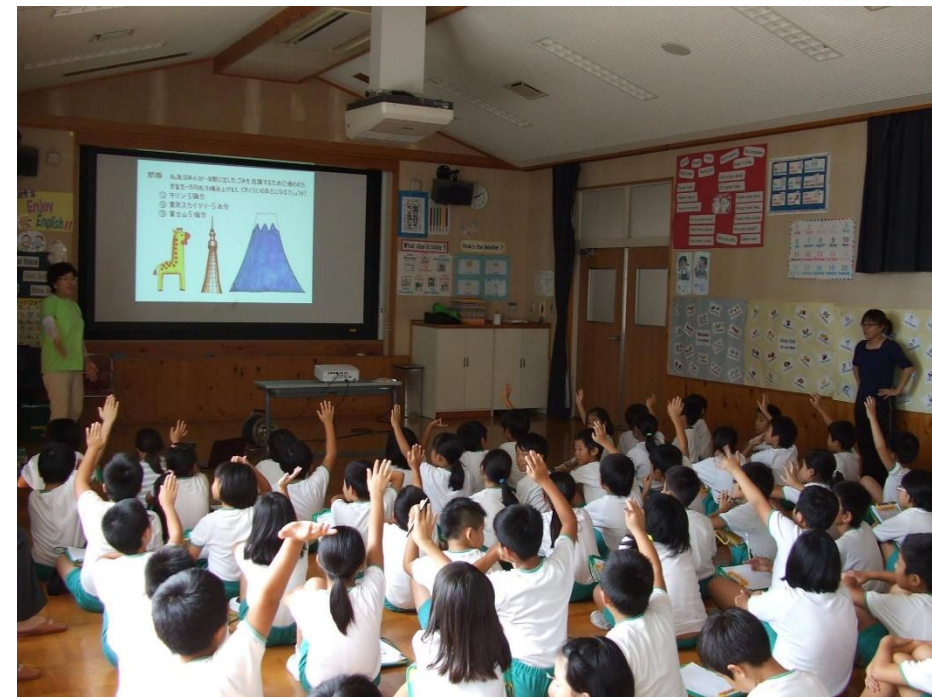
〈環境教育〉

小中学校での総合学習

静岡県環境教育事業からの委託

高齢者学校や児童クラブへの出前講座

富士市環境フェアや地区文化祭で出店



ごみ減量や環境をよくする講座や勉強会の開催

＜講演会＞：年2～3回企画

「もったいない音楽会」



環境省 浄化槽フォーラム
平成25年度 当会担当
「水環境と浄化槽講座」パネラー



市役所からの依頼で、
タイ国からの視察団に会の取り
組みとふろしきの使い方講座



ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動

＜リユース食器の活用、ごみ分別指導＞

イベントで使い捨て食器を使わずに、
リユース食器を使おうとする事業。

＜審議会、プロジェクト等への参加＞

廃棄物減量化等推進審議会参加

富士山麓ごみ減量大作戦

平成28年6月25日開催募集中

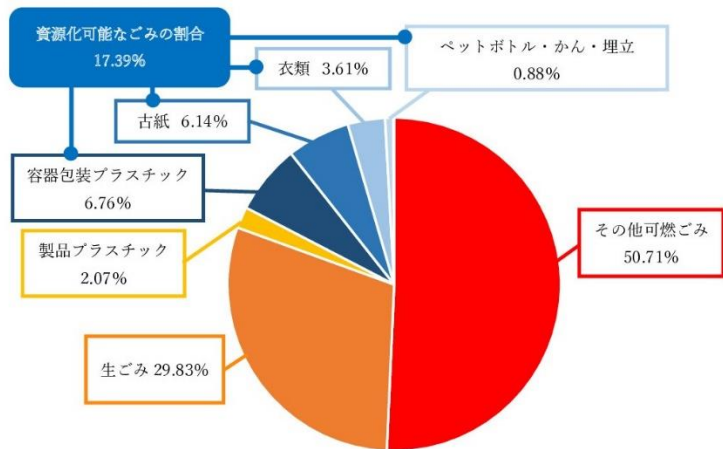
準グランプリ NPO法人富士市のごみを考える会

チーム名 市民福祉まつり
食器デポジットチーム

「食器デポジットチーム」を結成し、イベント時のリユース食器の貸し出しとゴミの出し方分別指導に精力的に取り組まれました。



家庭系可燃ごみの組成分析



■(その他可燃ごみ)・■(生ごみ)・■(製品プラスチック):可燃ごみとして出すもの
 ■(容器包装プラスチック)・■(古紙)・■(衣類)・■(ペットボトル・かん・埋立):分別不適ごみ

令和2年度 家庭系可燃ごみ組成分析調査結果

分別不適ごみ及び食品ロス(直接廃棄)

	令和2年度(6月)		令和2年度(11月)		令和2年度	
	kg	%	kg	%	kg	%
分別不適ごみ	130.6	20.188	88.9	14.44	219.5	17.39
食品ロス(直接廃棄)	21.7	3.35	21.4	3.48	43.1	3.41

※分別不適ごみは、古紙、かん・金属、ガラスびん、ペットボトル、容器包装プラスチック、埋立ごみ、衣類、剪定枝の合計

※食品ロス(直接廃棄)は、未使用及び使いかけ(原形をとどめたもの)の食品



組成分析調査の様子



分別不適ごみの例(かん)



可燃ごみに入っていた食品ロス(直接廃棄)の一部

2020年10月4日新環境クリーンセンター竣工、ふじさんエコトピアオープニングで基調講演会

• 小川浩理事長(常葉大学名誉教授)による講演会

• 山田辰美常葉大学名誉教授による講演会とビオトープ散策



オープン翌日の朝のNHKのニュースになりました。



ふじさんエコトピアは、環境学習啓発施設。 当会も積極的に活用しています。

・生ごみをたい肥にして畑で活用しよう！ごみ袋が軽くなる！



・田子の浦海岸からの流木アート
広報ふじの表紙になりました。



富士市のごみを考える会で、一緒に地球にやさしい暮らしを考えてみませんか？皆様のご参加をお待ちしています

